

## 平成29年度 事業計画

今後の世界経済は、米国が保護主義姿勢を強めることで世界貿易の縮小につながるリスクもあり、トランプ大統領の今後の言動が注目される。また、英国のEU離脱という不確実性に対する備えも各国には求められている。

国内経済でも、やはりトランプ新政権の動向を注視しながら、日本経済の上振れ・下振れ双方のリスクを見極めていく必要がある。

県内に目を向けると、米山新知事に対して無難な船出との評価の声が聞こえる。

平成28年度2月の県議会では「医療ビッグデータの活用」等の新施策を打ち出ししており、平成29年度は米山県政運営が本格化する年となる。歯止めのかからない人口減少問題、継続する原発を取り巻く問題等、課題は山積しているが、米山県政の手腕に新潟県民の関心と期待が集まる。また、平成28年度末に飛び込んできた県内地銀上位2行による経営統合のニュースは、県内経済環境の大きな変化を痛感することとなった。統合効果が本県経済の活性化に資することを切望する。

平成29年度の新潟経済同友会は、新たな委員会として「全国経済同友会セミナー実行委員会」を新設する。平成31年に新潟経済同友会設立25周年と新潟開港150周年の記念すべき年に開催する「全国経済同友会セミナー新潟大会」を成功に導く大役を担う。新潟開催は数えて第32回目にあたり、全国各地から1,000人を超える参加者を想定している。当委員会では、総合テーマ、分科会テーマをはじめ、基調講演、特別講演等プログラムの企画立案や運営、エクスクーションの運営、受入を行う。

本セミナーを通じて全国各地の参加者に「新潟のプライド・おもてなし」をアピールするため、万全を期して臨んで参りたい。

加えて、当会が主管となる対外活動が、今後続けて予定されている。平成30年には東北6県、北海道の経済同友会が会する「東北ブロック会議」、平成31年には栃木・群馬・埼玉の経済同友会が参加する「4経済同友会交流会」とそれぞれの新潟開催に向け、今から周到な準備を進めていきたい。

また、提言や公開シンポジウムを通し、市民や行政の機運醸成に努めてきた「2030年冬季オリンピック・パラリンピックの新潟開催」については、取り巻く状況の変化を睨みながら引き続き開催実現に向け注力して参りたい。

そして、平成29年度は、地方創生・地域産業の活性化を展望し、可能性を探求していく地域委員会と、10年後20年後の社会を想像し、新潟の成長について考えていく成長戦略委員会の2つの委員会で委員長が交代となる。新委員長の下でそれぞれの委員会が益々活発な活動を行い、有意義な足跡を残していくことを確信している。

新年度も新潟経済同友会は、16の委員会及び1つの研究会にて、当会設立の理念に基づき、政策提言集団として充実した活動に積極的に取り組みながら、全会員の知恵を結集し、新潟県の更なる発展のために尽くして参りたい。

# I. 委員会活動

---

平成 29 年度は、16 の委員会と 1 つの研究会でそれぞれのテーマについての調査・研究を重ね、随時積極的な提言活動を行う。

また、各委員会では提言した内容について関係機関に対し、その実行と協力を求めるなど適切にフォローアップを行い、加えて自らも実践して提言の実現を目指した活動を行う。

## 1. 一般行政委員会

**委員長 村山 政文 (株)村山土建・社長**

---

### 【方針】

米国大統領選挙、英国のEU脱退等、世界情勢は大きな転換期を迎えているが、各地方自治体が進める地方創生の取組も時代の変化に対応していかなければならないことから、新しい時代の地方自治の在り方について研究を行っていく。

提言「2030年までに目指す新潟県のすがた」のフォローアップを行うとともに、役割分担と共生により地域が治まっていた時代の「民政自治」について調査、研究を行っていく。

【テーマ】新しい時代の地方自治について考える

## 2. 地域委員会

**委員長 金井 利郎 (金井度量衡(株)・社長)**

---

### 【方針】

従来 of 経済対策に加え、アクティブシニア層の地方移住を推進し健康で充実したまちづくりを目指すCCRC構想は、地方の移住・定住人口の増加に資する取組として近年注目されている。

また、モノ消費からコト消費への消費者ニーズの変化を踏まえ、地域の魅力の掘り起しとその情緒的価値の積極的な発信は、交流人口の拡大に有効である。

さらに、地域の課題発見と解決のためには、AI、ICT等の先進技術のますますの活用も期待される場所である。

人口減少時代における地方創生には、様々な角度からのアプローチが求められることから、地域委員会では、これら地域活性化に向けた取組について調査・研究を行っていく。

加えて、新潟市国家戦略特区（農業特区）については、共同提案者として引き続き積極的に連携・参画を図っていく。

【テーマ】地方創生・地域産業の活性化に向けた可能性の探求

### 3. 環境・健康委員会

委員長 北村 慎一 (株)セキュリティリサイクル研究所・会長

---

#### 【方 針】

少子高齢化などにより労働力が限られていく中、労働者の健康増進に取組意義を普及させることは企業にとって持続的成長のカギとなっている。

行政・企業・関係団体と協力・連携した取組を通じ、いきいきと働き、健やかな生活を送ることで生産性の向上に資する健康経営や多様な働き方のスタイルについて研究を進めていく。

【テーマ】 地域職域連携による企業価値の向上に資するヘルスケアの研究

### 4. エネルギー委員会

委員長 野沢 慎吾 (セコム上信越株)・会長

---

#### 【方 針】

安全保障の観点などから、既存エネルギーと新エネルギーのバランスの取れたエネルギーミックスを実現することが重要である。

加えて、新潟県の現状を踏まえた上で将来に渡り持続可能な発展を目指すため「ゼロ・エミッション社会」についても研究を進めていく。

【テーマ】 エネルギーミックス、ゼロ・エミッション社会の研究

### 5. 企業経営委員会

委員長 中元 将人 (株)中元組・会長

---

#### 【方 針】

働き方改革、人材不足、企業価値の向上等、我が国の企業は多くの課題を抱えている。山積するこれら諸課題の調査・研究を重ねることで、持続的に成長する企業価値の向上を目指していく。

また、産学連携の観点から主に県内大学の研究者を招き、ネットワークの構築を推進していく。

【テーマ】 企業経営を巡る諸課題の研究

### 6. 国際戦略委員会

委員長 長谷川 宏志 (ハセガワ化成工業株)・社長

---

#### 【方 針】

経済成長や経済連携の充実に伴い、今まで以上に重要な関係となる対岸諸国等と国際的な諸問題を越えた相互理解を深め、新潟の拠点化向上と充実へ繋げるべく、海外視察等を通じてその可能性を調査・研究していく。

また、新潟の経済人として引き続き駐新潟各国総領事館との交流を深め、人的・経済的交流のさらなる発展を目指していく。

<行事予定> 海外ミッション「ミャンマー」

【テーマ】 新潟の拠点化向上と充実

## 7. 教育問題委員会

委員長 野口 一則 (株)シアンス・社長

---

### 【方 針】

近年、少子高齢化・人口減少・グローバル化社会の到来、社会経済の構造的変化や雇用の多様化が進む中、若者の勤労観・職業観の未成熟や社会人・職業人としての基礎的資質・能力の不十分さが各方面から指摘されている。このような状況を踏まえ、明日の日本を支える国際的な視野を備えた人財を育成していくためには、「学ぶこと」と「働くこと」を関連付けながら、希望を持って「自立して生きる力」を身に付けさせることが大切である。当委員会では、「キャリア教育」について産学官で協力して調査・研究を深めていく。

【テーマ】次代を担う人財の育成を考える

## 8. 例会担当委員会

委員長 本間 彊 (株)丸屋本店・社長

---

### 【方 針】

行政トップや企業経営者・有識者および当会会員をお招きし、各界の皆様と交流の機会を深める場とするだけでなく、会員同士(OB含む)のネットワークづくりを目指していく。

## 9. 百年後委員会

委員長 渡邊 明紀 (新発田建設株)・社長

---

### 【方 針】

当委員会提言に端を発し設置された、「新潟県人口問題対策会議」については引き続き参画し、「新潟県少子化対策モデル事業」についても積極的にフォローしていく。併せて、新潟県との関係をより強固なものとし、連携して人口問題対策に取り組んでいく。

【テーマ】提言「新潟県人口 300 万人を目指して」の具体的実現に向けて

## 10. 会員交流委員会

委員長 本間 剛三 (株)本間組・会長

---

### 【方 針】

会員数が増加傾向にある中、2019年全国経済同友会セミナー新潟開催に向け、会員400名を目標に、さらなる会員増強に努めるとともに会員相互の交流を促進していく。また、委員会活動等への積極的な参加を促すため、オリエンテーション等の機会を活かして当会の活動について情報を発信していく。

<行事予定>

- ①新入会員・交替会員のための「オリエンテーション」平成29年6月13日(火)  
平成29年11月7日(火)
- ②会員増強と会員交流のための「納涼会」平成29年8月21日(月)
- ③会員交流懇親会「新潟の食を楽しむ会～晩秋の新潟・温石に和む～(忘年会)」  
平成29年11月7日(火)

【テーマ】会員増強と会員相互の交流促進

### 1 1. 国際見本市推進委員会

委員長 関根 繁明 (明和工業㈱・社長)

---

#### 【方 針】

新潟の国際見本市会場の可及的速やかな整備の具体化に向け、周辺環境の情勢等を十分考慮しながら検討を進めていく。

【テーマ】国際見本市会場の早期整備に向けて

### 1 2. 広域交流委員会

委員長 樋熊 隆治 (㈱ゼルコバ・社長)

---

#### 【方 針】

経済・産業・観光等多角的観点で、近隣経済同友会（群馬・埼玉・栃木）との交流・絆を深めていく。また、全国および地方ブロックのセミナー等へ積極的に参加し、「新潟の元気」を各地に発信していく。

【テーマ】県域を越えた経済同友会との交流を通し、「新潟の元気」を発信

### 1 3. 成長戦略委員会

委員長 木山 光 (木山産業㈱・社長)

---

#### 【方 針】

社会構造の変化が著しい中、今ある新潟の価値や誇りを再認識した上で、10年後、20年後の社会における「新潟の成長の源泉」とは何か研究を深めていく。

【テーマ】10年後、20年後の社会を想像し、新潟の成長について考える

### 起業家支援研究会

座長 木山 光 (木山産業㈱・社長)

---

#### 【方 針】

起業を支援する機関・制度が豊富に存在しているにもかかわらず、新潟県の開業率は全国で下位に属していることから、新潟に創業が次々と湧き起こるためには、支援機関・制度以外にも、起業マインドの醸成や起業家教育が重要である。

また、起業を志す人々の交流の場や、起業家を育成するためのメンターの重要性、企業内起業についても研究を深めていく。

【テーマ】起業マインドを醸成するための場、起業家を輩出するための場の創出について考える

#### **14. インフラ推進委員会**

**委員長 渡辺 敏彦 (学新潟総合学園・副理事長)**

---

##### **【方 針】**

新潟の日本海側における拠点化及び魅力向上のために必要なハードインフラの整備に焦点をあて、観光振興や広域医療等を踏まえた関係行政機関との勉強会を開催するなど、インフラの有効活用による地域経済発展に向けた調査研究を行っていく。また、冬季オリンピック・パラリンピックの2030年新潟開催を目指し、提言の具体化に向けたフォローアップを継続していく。

**【テーマ】** 鉄道・空港・港湾機能の連携による物流・人流、防災・救援機能及び産業競争力の強化と新潟の魅力向上

#### **15. 観光推進委員会**

**委員長 高橋 秀之 (愛宕商事㈱・社長)**

---

##### **【方 針】**

訪日外国人客が急増し、「2,000万人時代」に突入したが、新潟県には様々な観光資源がそろっているにもかかわらず、訪日外国人客の誘致に関しては未だ、十分であるとはいえない。かかる状況下、課題について分析・研究し、インバウンドの拡大や県内観光の再発見・再認識を含めた交流人口拡大に向けて観光戦略の検討を進めていく。

**【テーマ】** インバウンド促進と交流人口拡大に向けた観光戦略を検討する

#### **16. 全国経済同友会セミナー実行委員会**

**委員長 今井 幹文 (藤田金属㈱・社長)**

---

##### **【方 針】**

2019年全国経済同友会セミナー新潟開催に向け企画立案をし、開催成功に向け準備を進めていく。